

平成 24 事業年度

決 算 報 告 書

自：平成 24 年 4 月 1 日

至：平成 25 年 3 月 31 日

国立大学法人熊本大学

平成24年度 決算報告書

国立大学法人熊本大学

(単位：百万円)

| 区 分 | 予 算 額 | 決 算 額 | 差 額 | 備 考 |
|---------------------------|--------|--------|---------|-------|
| | | | (決算－予算) | |
| 収入 | | | | |
| 運営費交付金 | 16,332 | 14,332 | △ 1,999 | (注1) |
| 施設整備費補助金 | 2,641 | 1,237 | △ 1,403 | (注2) |
| 船舶建造費補助金 | — | — | — | |
| 補助金等収入 | 609 | 1,803 | 1,194 | (注3) |
| 国立大学財務・経営センター 施設費交付金 | 69 | 69 | — | |
| 自己収入 | 28,326 | 29,053 | 727 | |
| 授業料、入学料及び検定料 収入 | 6,334 | 6,244 | △ 89 | (注4) |
| 附属病院収入 | 21,257 | 21,713 | 456 | (注5) |
| 財産処分収入 | — | — | — | |
| 雑収入 | 735 | 1,095 | 360 | (注6) |
| 産学連携等研究収入及び寄附 金収入等 | 3,362 | 3,708 | 346 | (注7) |
| 引当金取崩 | — | 13 | 13 | (注8) |
| 長期借入金収入 | 2,465 | 1,257 | △ 1,207 | (注9) |
| 貸付回収金 | — | — | — | |
| 目的積立金取崩 | 190 | 89 | △ 100 | (注10) |
| 計 | 53,994 | 51,564 | △ 2,429 | |
| 支出 | | | | |
| 業務費 | 41,642 | 40,247 | △ 1,394 | |
| 教育研究経費 | 19,803 | 19,055 | △ 747 | (注11) |
| 診療経費 | 21,839 | 21,192 | △ 646 | (注12) |
| 施設整備費 | 5,175 | 2,563 | △ 2,611 | (注13) |
| 船舶建造費 | — | — | — | |
| 補助金等 | 609 | 1,803 | 1,194 | (注14) |
| 産学連携等研究経費及び寄附 金事業費等 | 3,362 | 3,378 | 16 | (注15) |
| 貸付金 | — | — | — | |
| 長期借入金償還金 | 3,206 | 3,185 | △ 20 | (注16) |
| 国立大学法人財務・経営セン ター施設費納付金 | — | — | — | |
| 計 | 53,994 | 51,178 | △ 2,815 | |
| 収入－支出 | — | 386 | 386 | |

○予算と決算の差異について

(注1) 業務達成事業等による繰越のため、予算額に比して決算額が 1,999 百万円少額となっている

(注2) 文部科学省と協議後、事業計画を変更したため、予算額に比して決算額が 1,403 百万円少額となっている。

(注3) 各種補助金等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が 1,194 百万円多額となっている。

(注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、在籍者数等の減に伴い、予算額に比して決算額が 89 百万円少額となっている。

(注5) 附属病院収入については、増収努力に努めたこと等により、予算額に比して 456 百万円多額となっている。

(注6) 雑収入については、自己収入の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が 360 百万円多額となっている。

(注7) 外部資金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が 346 百万円多額となっている。

(注8) 自己都合による退職により、予算額に比して決算額が 13 百万円多額となっている。

(注9) 文部科学省と協議後、事業計画を変更したため、予算額に比して決算額が 1,207 百万円少額となっている。

(注10) 事業計画の変更により、予算額に比して決算額が 100 百万円少額となっている。

(注11) 費用進行基準による繰越等により、予算額に比して決算額が 747 百万円少額となっている。

(注12) 業務達成基準による繰越等により、予算額に比して決算額が 646 百万円少額となっている。

(注13) (注2・注9) に示した理由等により、予算額に比して決算額が 2,611 百万円少額となっている。

(注14) (注3) に示した理由等により、予算額に比して決算額が 1,194 百万円多額となっている。

(注15) (注7) に示した理由等により、受入額が増加したため、予算額に比して決算額が 16 百万円多額となっている。

(注16) 借入時期の変更等により、予算額に比して決算額が 20 百万円少額となっている。